



2025 年 5 月 14 日

各位

会社名 シュンビン株式会社
(コード番号 203A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 津村 元英
お問合せ先 取締役経営管理部長 松本 晋一
T E L 075-611-0188
U R L <https://www.shun-bin.com>

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024 年 6 月 27 日開示「東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました 2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり、修正することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
(単位：百万円)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,006	28	26	17	7.68 円
今回修正予想 (B)	1,036	0	11	6	2.89 円
増減額 (B-A)	30	△28	△15	△11	—
増減率 (%)	3.0	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2024 年 3 月期)	961	6	13	8	3.73 円

2. 修正の理由

当社における販売構成が想定通りに進まず、また 2025 年 3 月期決算における売上高、営業利益および経常利益などがおおよそまとまったことを受けて、通期連結業績予想の修正をする判断に至りました。想定通りに販売構成が進まなかった要因は以下のように考えられます。

・主力事業の受注の伸び悩み

原価高騰の影響もあり利益率が低いオリジナル瓶在庫販売サービスは、前期よりも売上及び利益が上回った一方で、主力となっているブランディング受注生産サービスにおいて、利益率の高い案件でもある Web 製作 I T 運用コンサルティング及び空間・建築デザインに関する受注が、製作案件の販売計画の未達及び受注遅延を主たる要因として、売上及び利益が想定を下回る見通しとなりました。

・経費削減対応に関する意識の低迷

年間の売上高を見込んで経費も予算立てしておりましたが、受注獲得に向けての旅費交通費や固定費となる管理手数料など、受注の減少に迅速かつ柔軟に対応することができず、経費削減が遅れました。

これらの要因により、連結営業利益が前回発表予想より 28 百万円減の連結営業利益 0 百万円となり、連結経常利益は、前回発表予想より 15 百万円減の連結経常利益 11 百万円となる見通しです。

3. 今後の見通し

今後につきましては、マーケティング担当者不足といった課題を抱えておられる中堅・中小企業様向けにブランディングを推進してまいります。そうした中で近年、中堅・中小企業での人手不足が深刻化しており、当該課題解決においてインナーブランディング取引の拡大を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、社会的意義がある事業については、コンサルの一部を成功報酬型の取引とするなど収益向上に努めます。

今回の連結業績予想の下方修正を踏まえた上で、今後は当社の各事業につきましてはこれまで以上に業績見通しの精度と確度を高め、大幅な乖離が発生しないように慎重に取り組んでまいります。

(業績等の予想に関する注意事項)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。